

留学生は“日本”をどう見たか

2019年度 岐阜大学 日本語・日本文化研修留学生 修了論文発表会

日本語・日本文化研修留学生（日研生）とは、約1年間（10月～8月）岐阜大学で日本語と日本文化を集中的に学ぶ留学生です。1年間の研修の成果である修了論文の発表会を行います。発表は日本語です。ぜひお越しください。

日時：2019年8月4日（日） 13:30～16:00（開場13:00）

場所：岐阜大学サテライトキャンパス（スカイウイング37 東棟4階）

発表学生・発表題目（仮）（姓五十音順） ※発表順ではありません

- 江 愷悌（コウ ガイテイ・中国）

私たちはまだ「腐向け」を知らない –『名探偵コナン』劇場版の二次創作を例として–

- サオカムケット・スパークディー（タイ）

同棲は結婚に繋がるか –タイ・日における大学生の意識–

- ドルディネツ・イエヴハン（ウクライナ）

翻訳における日本語オノマトペ

–『ハリー・ポッターと賢者の石』の英語原作・中国語訳・ウクライナ語訳との比較–

- トンピチャイ・パーキン（タイ）

社名のネーミング –日本・岐阜県における社名の特徴–

- 梁 雅麗（リョウ ガレイ・中国）

ブラックバイトから立ち上がり –岐阜大学の留学生に対する調査–

- 黎 宇傑（レイ ウケツ・中国）

明末・清初期のキリスト教受容に関する考察

–明朝とイタリア人宣教師マテオ・リッチ、そして同時期の日本との比較–

事前申込・参加費：不要（当日会場にお越しください）

定員：80名

駐車場：有料（スカイウイング37）

主催：岐阜大学 日本語・日本文化教育センター

問い合わせ先：岐阜大学日本語・日本文化教育センター（058-293-2138, 3392）

※本発表会の無断での写真・ビデオ撮影はご遠慮ください。